

まちまるごと植物園

〈まちまるごと植物園〉

家の鉢や庭、店の軒先や地域の花壇など、「育てるを楽しむ」場所に立てることのできるロゴプレートは、まさに「まち」が「まるごと植物園」のように広がりを見せるシンボリック存在。役場へ届出をすることで立てられるこのロゴプレートは、令和2年2月の配布開始以来、町内の至る所で見かけるようになった。

ロゴプレート数…114枚(R3・8月)
牧野公園内の山野草…565種
(内 牧野博士ゆかりの植物…401種)

まちまるごと植物園の主な活動



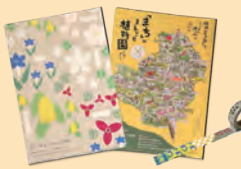
ロゴプレート

ロゴプレートは、「まち」が「まるごと植物園」のように広がりを見せるシンボリック存在。役場へ届出をすることで立てられる。



植栽イベント

年間を通して植物とふれあってもらおうと、初めての方でも参加できる様々な植栽イベントを開催している。



オリジナルグッズ

まちまるごと植物園を町内外の方々に知ってもらい、一緒に「育てるを楽しむ」仲間になってもらおうと、ポスターやクリアファイル、マスキングテープなどを制作。



牧野富太郎の聖地を歩く

富太郎少年を植物の虜にした草木たちの自生地を訪ねる「聖地を歩くウォーキング」は、採集・観察地を巡る6コースがある。牧野博士が歩いた道に分け入り、植物の楽しい世界を体感することができる。



小中学校との取り組み

佐川町内の小中学校の児童生徒で「牧野博士ゆかりの植物」を種から育て、牧野公園ほか学校や地域の花壇に植栽し、佐川町の魅力あふれる庭づくりに取り組んでいる。



町内の植物

ジョウロウホトギスのような絶滅危種やバイカオウレンの一群生、フクリンササユリなどが自生し、地域の人々によって大切に守り育てられている。



自伐型林業

皆伐などの大規模な作業とは異なり、山主や地域住民ら自ら山林をていねいに手入れし、持続的な山づくりを目指す自伐型林業では、環境保全型で低コストな林業が実現している。

わんさかわっしょい体験博

〈わんさかわっしょい体験博〉

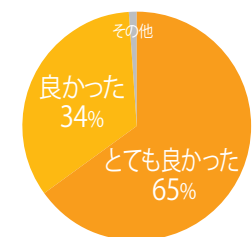
町民自身が地域の魅力を再発見する機会の創出を核に、地域資源等を活用した観光プログラムを造成し、観光による地域づくりを推進していくため、体験型の観光プログラム博覧会「わんさかわっしょい体験博」を開催。

〈エキスパート人材育成の結果〉

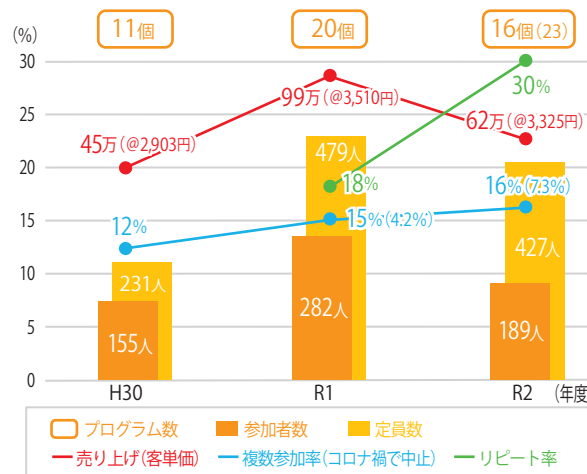
エキスパート人材			
平成30年	令和元年	令和2年	合計
11	18	20	49団体 (個人含む)

〈体験博 取り組みの評価〉

主催者側の事業者や地域が工夫を凝らし作り上げたもので、伝統文化や植物に関連づけた内容も多く、佐川町らしいプログラムが揃ったことや、体験内容に対して販売価格が比較的安く、お得感があったことなどがアンケートの好結果につながったと考えられる。



わんさかわっしょい体験博
参加者アンケート結果



今後やってみたい体験	
1位	チーズ作り体験
2位	山野草講座
3位	郷土料理教室
4位	地場産品料理教室
5位	化石発掘、山菜料理教室

〈平成30年度 プレ開催プログラム〉



テイスティング体験&
オリジナルブレンド紅茶づくり

斗賀野地区の
梅の里めぐり体験



未来の牧野ハカセと歩こう!
バイカオウレン群生地ウォーキング

牧野富太郎生誕地の苔で作る
テラリウム体験



仁淀ブルーが育んだ
天然鮎の塩焼き&あゆづくし

美味しいトマトの見分け方教えます!
もぎたてフルーツトマト体験

〈令和元年度 第1回 プログラム〉



「果実本来の味を知る」
旬のりんご&梨収穫体験

佐川伝統の味、自分だけの
オリジナル山椒もちづくり体験

紅茶テイスティング&
myブレンド紅茶作り体験

佐川の桜で作るバターナイフ
&ジャムスプーンの
オイルフィニッシュ体験

佐川の花で作る
ハーバリウム

川ちゃんが教える
牧野富太郎生誕地の苔で
テラリウム作り体験

天然染料で染める
草木染め体験

思い出のTシャツを
時計に生まれ変わらせよう!

電源不要!
あなたのスマホで使える
ヒノキのウッドスピーカー作り

最新デジタル工作機器×
佐川町産ヒノキ
オリジナルスツールを製作体験!

自転車職人がご案内!
サイクリングで感じる
〜仁淀ブルー〜

〈令和2年度 第2回 プログラム〉



佐川いちごの旬を贅沢に味わう
ごろごろフルーツの
ショートケーキ作り

佐川茶と地乳プリンと
果実の地産ペアリングに舌鼓

仁淀川流域特産「夢甘栗」で
ホロホロ栗さんを作ろう

健やかで優しい味。野草茶&
酒粕クラッカー作り

茶歌舞伎(茶香服、利き茶)入門
室町時代の貴族、武家、僧侶に
大流行!

自然の優しい色あいを楽しもう!
刺繍で彩るヒノキの小箱作り

世界の植物学者・牧野博士に
代わって?
加茂の小学生がご案内

牧野富太郎生誕地の苔で
テラリウム作り体験

天然染料で染める
草木染め体験

「世界に一つだけ」
木のアロマリング作り

花の色とキラキラ透明感に
癒される
自分好みのハーバリウムづくり

紅茶テイスティング&
myブレンド紅茶作り

歴史的風致維持向上計画(歴まち)

〈平成30年度 プレ開催プログラム〉



昔の織り機で再生! 里山の古布でつくる
マイショルダーバッグ



酒蔵見学&大正軒・鰻づくしと
司牡丹を楽しむ会

〈令和元年度 第1回 プログラム〉



酒蔵見学&大正軒・鰻づくしと
司牡丹を楽しむ会



昔の織り機で再生! 里山の
古布でつくるランチョンマット



地元高校生が教える! あなたの知
らない佐川町の歴史&グルメ探訪



着物レンタル町歩き&
町家カフェ

〈令和2年度 第2回 プログラム〉



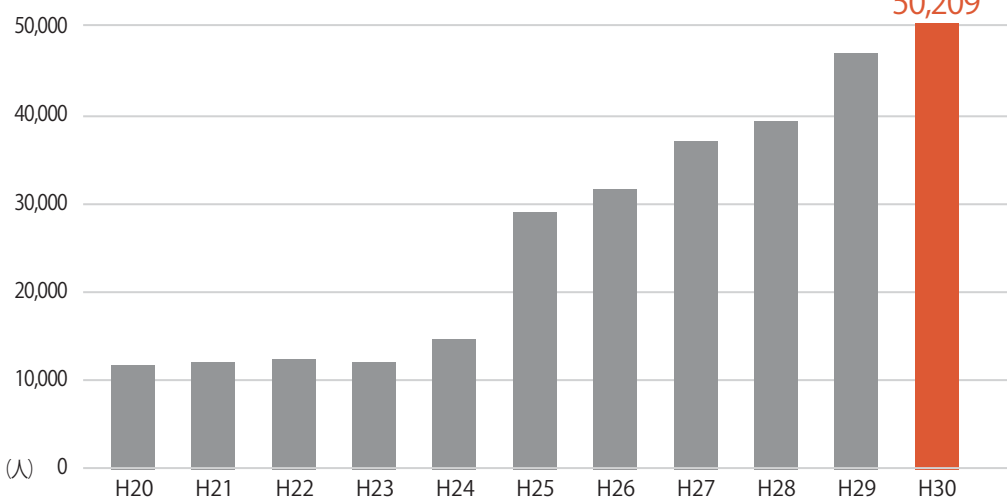
地元高校生と行く歴史&
プチグルメお散歩! 第2弾!



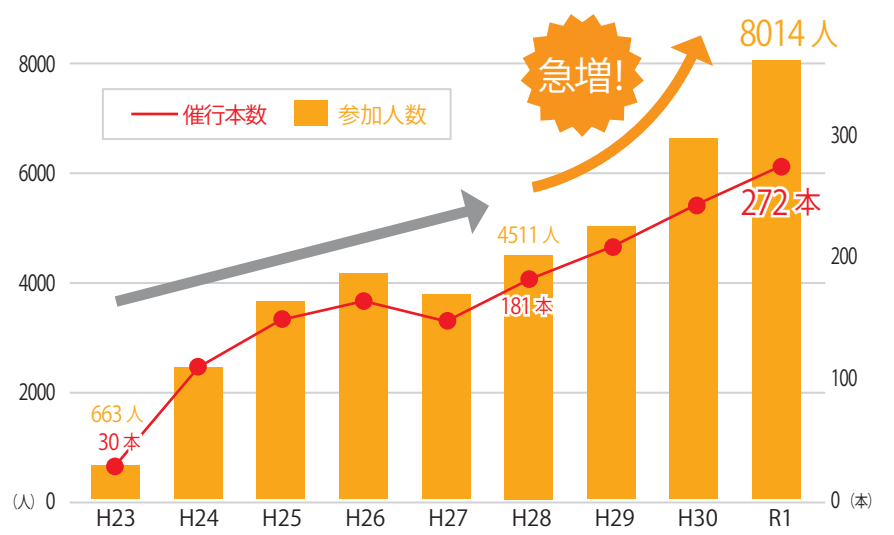
昔の織り機で再生!
里山の古布でつくるランチョンマット

佐川町の観光入込客数

→施策24



仁淀川地域へのツアーの受け入れ実績



まじめにおもしろい365日

〈チームさかわの日〉 「チームさかわの日」は、それぞれの部門で「まじめに、おもしろく。」活動に取り組んでいる町内の団体等を表彰するイベント。

部 門	平成28年度
まちまるごと植物園	牧野公園はなもりC-LOVE
ふるさと学	高知県立佐川高等学校
みんなの情報発信局	NPO法人佐川くろがねの会
さかわの踊り子	端応盆踊り保存会
まじめに、おもしろい 地域の日	尾川地区活性化協議会

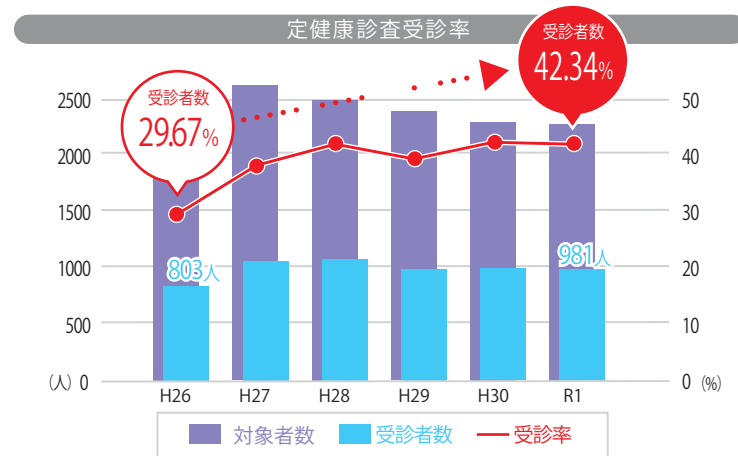


部 門	平成29年度
目指せ健康体クラブ	黒岩地区民運動会実行委員会
さかわ発明ラボ	加茂の里づくり会
どこでもマーケット	とかの女子会
さかわを食べる部	加茂子ども食堂
安全安心となり組	黒岩親の会
さかわ散歩の達人	ウォーキングで健康の輪をひろげよう連絡会
ふるさと学	真辺誠男、佐川町立尾川小中学校
みんなの情報発信局	高知県立佐川高等学校
さかわの踊り子	四ツ白太刀踊り保存会
山・川・空の贈り物	加茂よさこいクラブ

部 門	平成30年度
どこでも悩み相談カフェ	佐川わくわくクラブ
目指せ健康体クラブ	石本光典
安全安心となり組	おたすけ隊
ふるさと学	尾川小中学校
あいさつ街道	森山豊幸
山・川・空の贈り物	夢の里づくり隊
クリエイティブ農家	土本観光果樹園
まじめに、おもしろい 地域の日	片岡バラエティークラブ 桜座CLUB 城山祭り実行委員会 たらふく秋まつり実行委員会

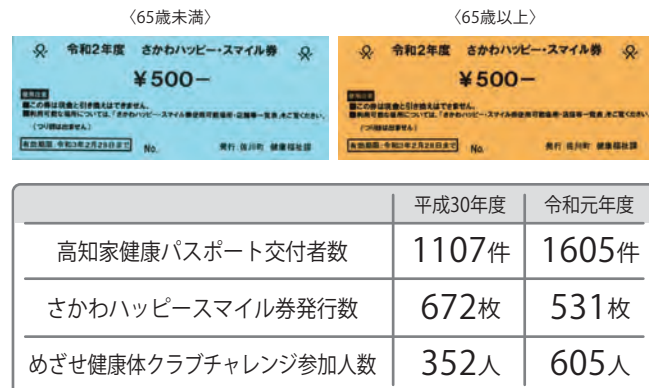
特定健診

平成27年度に、特定健康診査受診の自己負担を1人500円から無料とし、平成28年度には、第5次佐川町総合計画のひとつの施策、「健康診断受診の習慣化の促進」を盛り込み、健康福祉課・高北国民健康保険病院と連携し、受診率を上げるための取り組みを行ってきた。結果、特定健康診査受診率県内ワースト3値だったのが改善されてきた。



高知家健康パスポート

平成30年度より、町独自の取り組みとして「佐川町めざせ健康体クラブ事業」を開始するとともに、獲得ポイントにより町内施設等で使える「さかわハッピースマイル券」を発行している。住民の健康づくりに向けた具体的な行動を起こすきっかけづくり、運動や検診受診等の健康行動の継続、健康づくりのモチベーションアップに繋がっており、町民からは、「週単位・月単位での平均歩数が大幅に増加した」、「体重を測る習慣ができた」などの声もあった。



あったかふれあいセンター

〈取り組み内容〉

誰もが利用できる地域福祉の拠点施設であり、フォーマルな介護福祉制度の隙間を埋める支援、「集い」「訪問」「送迎」「生活支援」「交わる」「学ぶ」「相談」「つなぎ」を行っている。

〈成果〉

「集い」や「訪問」等の必須事業に継続して取り組み、コーディネーターやスタッフが地域団体と連携したイベントを実施するなど特色ある取り組みを展開。年々、あったかふれあいセンターの利用実績は伸びており、取り組みの成果が現れている。

福祉、介護分野における公的制度以外のサービスについて、住民の支え合い等を中心とした地域福祉の力でカバーする拠点施設として、町内5地区全てに立ち上がり、地域になくてはならない存在になっている。

あったかふれあいセンターとかの スタッフの声

Q センターができたことで地域住民の方々に
どういうふうに出て入れられていると感じますか？

センターの役割としては「集まる」とこと、世代間交流ができています。小規模で多機能な支援の拠点として、ここに住んでいる住民の居場所になっていると思います。

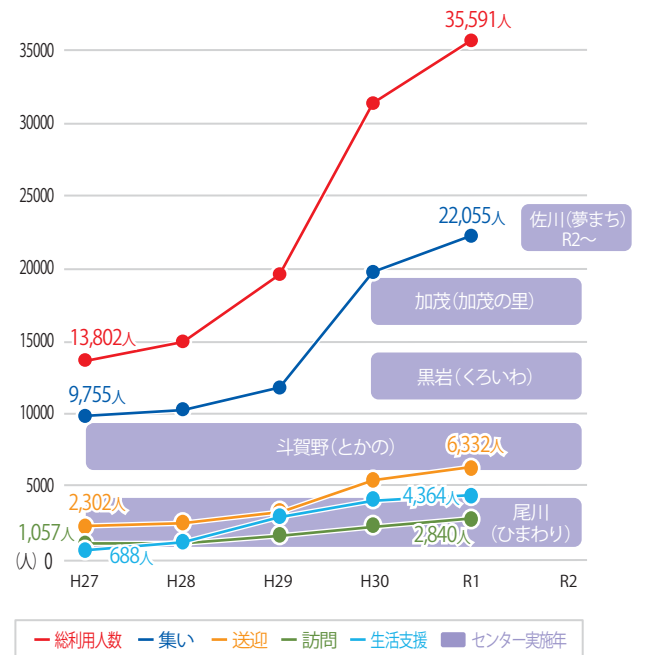
Q 利用者の実際の声をきいて、
感じることはありますか？

毎日来られる方もいるのでここができてよかったです。出かけるところがあるのが一番かなと思います。最近では認知症の方など支援が必要な方が増えてきているので、そういう情報が利用者からここに集まるということは大変だと思います。私たちが解決したり、できないところは行政に繋ぐ、という役割も持っています。

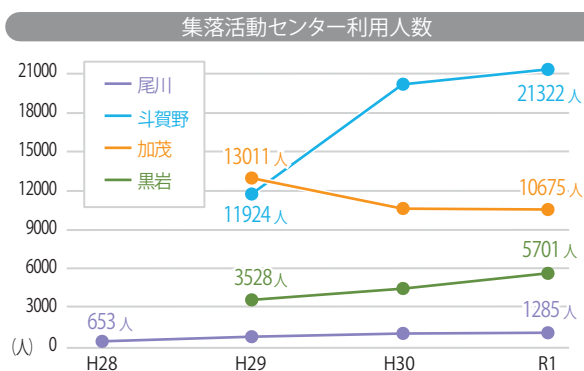
Q 同センターをどのように
活用して行ってほしいですか？

集まるだけの居場所ではなく、様々な問題を抱えている方への支援・窓口になっていけたらと思っています。

あったかふれあいセンター利用人数 及び 実施箇所



集落活動センター



	平成29年度	平成30年度	令和元年度
尾川	平成28年度 地域のお祭りに参加 積極的に参加	平成29年度 ピザ焼き体験、カレーの日、 尾川中学生的「尾川ガーデン」	尾川小学校児童による「尾川ゆたか未来新聞」の作成に協力、 県立大生と連携して地域の財産の発掘に尽力
斗賀野	10月1日より集落活動センターが開所し、 様々な事業が開始	あったかふれあいセンター事業や子ども食堂など 多くの地域住民が集まる集いの場を提供	農業分野ではトピアとかのを立ち上げるなど 地域課題に取り組む
加茂	パイカオウレンの群生地を整備し、 鑑賞月間をつくる	古くから伝わる火文字祭や、 休止していた敬老会を開催	パイカオウレンの自生地の保全に積極的で、 それを核としたイベントを実施
黒岩	黒岩いきいき応援隊の拠点「集落活動センター くろいわ」の開設で事業実績が飛躍的に向上	休校中の黒岩中学校の行事を引き継いだ 「黒岩ふれあい文化祭」を企画実施	商工会主催であるが「ぢうち祭り」が 休校中の黒岩中学校で開催された

共生型施設の立ち上げ

〈施設について〉

令和2年8月に開所。認知症対応型のグループホームと、高齢者だけでなく障害者も利用できる共生型小規模多機能型居宅介護事業所の2つの事業所がある。

〈サービス内容〉

グループホームは、職員が常駐し食事・入浴等の自立支援を行う。小規模多機能事業所は、「通い」(来所しての食事、入浴、排泄等の支援)と、「泊まり」(夜間での食事、睡眠、排泄等の支援)、「訪問」(自宅での生活についての相談支援)がある。

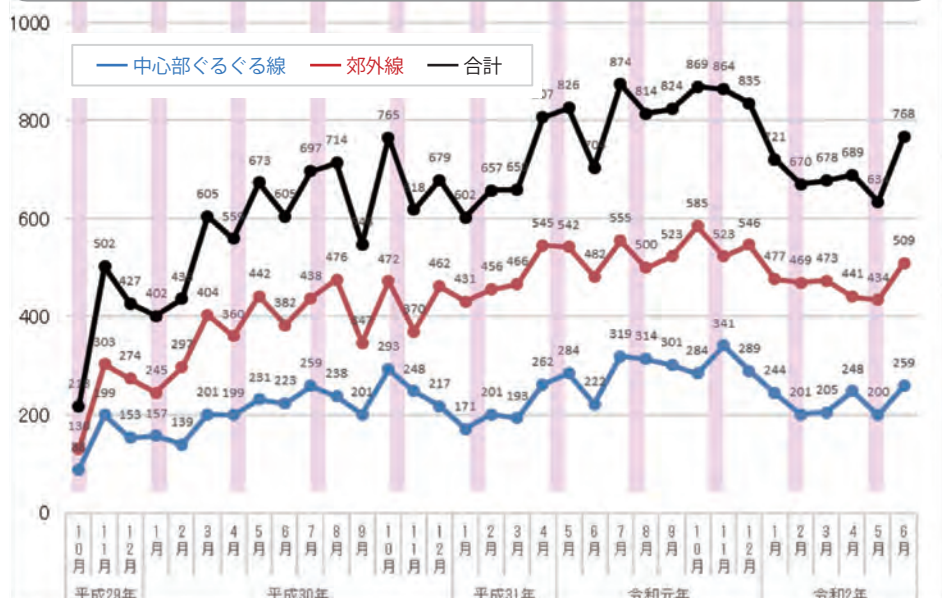


ぶらっとホームさかわの様子

さかわぐるぐるバス

佐川町に暮らす人々が将来への不安などを感じることなく、日常の生活に幸せを感じながら過ごすことができる町をめざし、平成29年より運行開始。地元のタクシー会社3社と黒岩観光が路線ごとに運行を担う。

さかわぐるぐるバス本格運行開始以降の利用者数推移

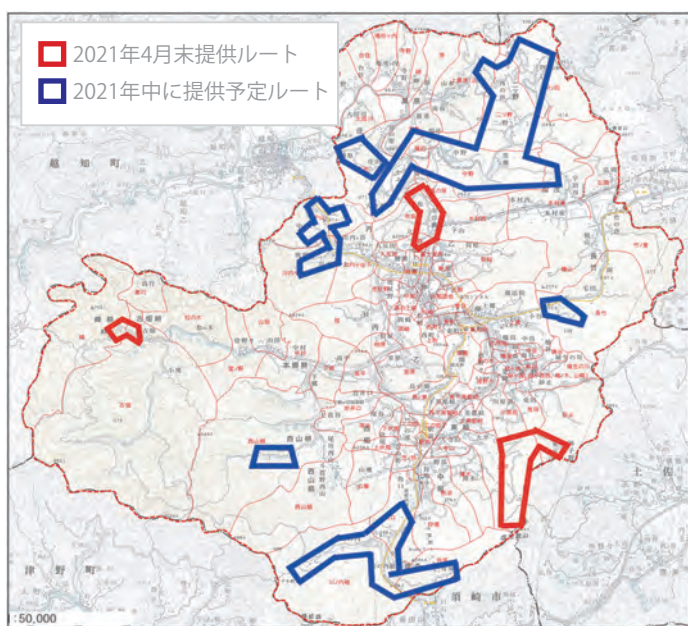


さかわぐるぐるバス 路線図と運賃



光ファイバ通信

より良い情報通信環境にするため、高度無線環境整備推進事業等を活用し、N T T 西日本が民設民営方式により固定電話回線が通っている佐川町内全域に光ファイバを整備。これにより、固定電話回線のある佐川町内全域への光ファイバが令和3年度には整備される予定(現在の佐川町の整備率97.28%)



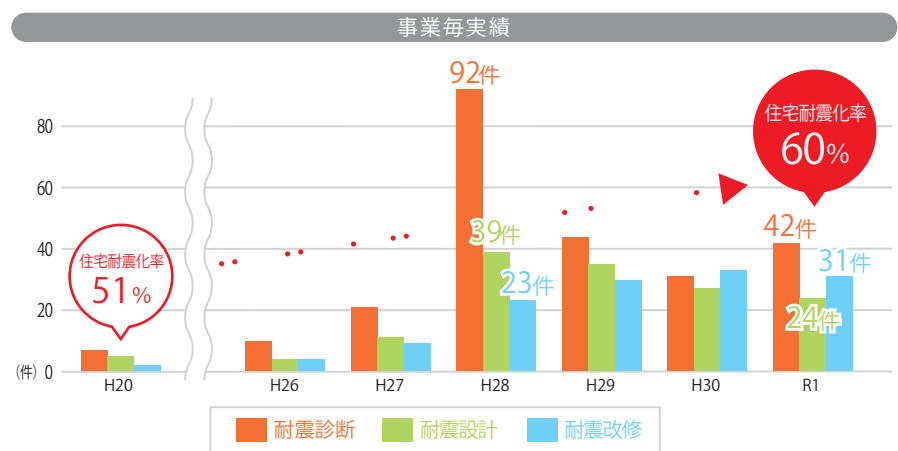
住宅耐震化事業

〈現状〉

甚大な被害をもたらすと考えられる南海トラフ地震による死者数を限りなくゼロにするため、建築物の耐震化が急がれる。

〈事業実績〉

佐川町の住宅耐震化率は、平成20年の51%から、平成31年には60%に増加。耐震診断、耐震設計、耐震改修の回数も平成28年から増加した。



道路・橋梁長寿命化対策

〈活動内容〉

これまでに佐川町は町道、橋梁、トンネルなど多くの施設を整備してきた。これらの施設の多くは耐用年数が超過し老朽化が進行しており、突発事故の発生や施設の機能低下が懸念されている。

こうした中、平成25年11月に、インフラの戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す「インフラ長寿命化基本計画」が策定された。このため、当町が所管するインフラ等を対象に「公共施設等総合管理計画」、「道路・橋梁・トンネル長寿命化修繕計画」を策定し、長寿命化に向けた取り組みを推進している。

〈事業実績〉

点検した40路線(21.8 km)の診断結果	機能保持 修繕段階	修繕段階	補修対象路線:40路線 補修予定延長:11.2km 補修完了延長:7.4km 進捗率:66.1%(22路線完了)
点検路線延長	6.949km	14.848km	



道路補修前

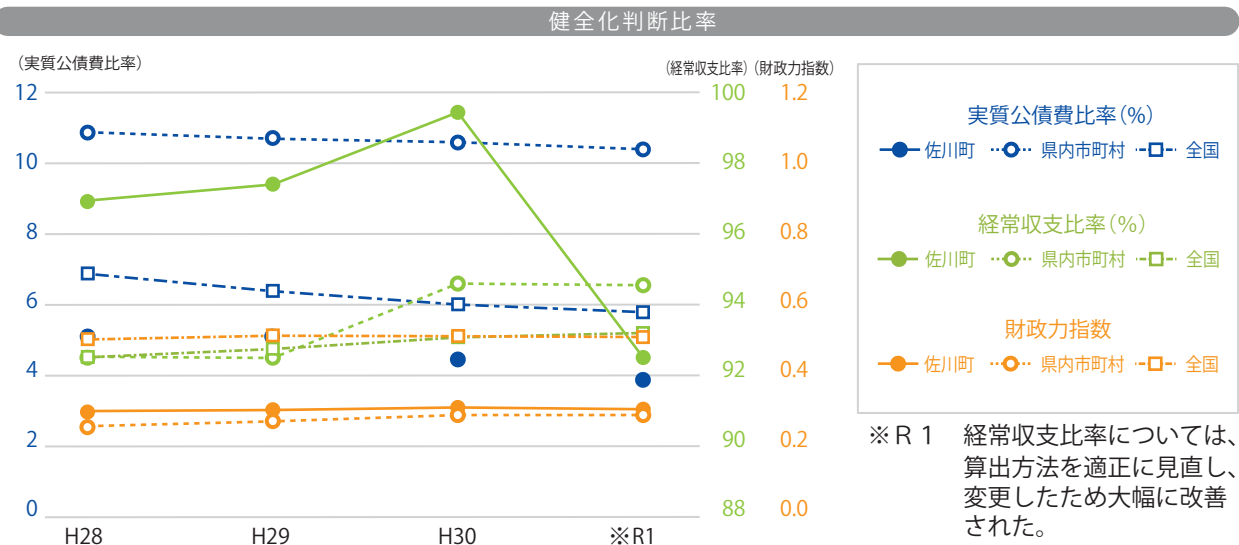


補修後

財政健全計画

平成20年度から施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、佐川町の健全化判断比率等を公表している。

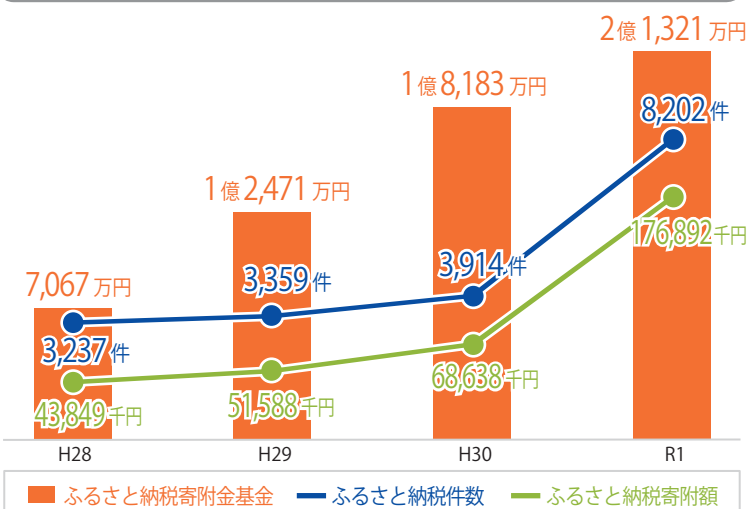
住民に対して分かりやすい財政情報の開示、議会及び監査委員のチェック機能による要因の早期発見と改善、特別会計や一部事務組合等も含めた総合的な市町村財政の把握が目的となっている。



ふるさと納税

佐川町のふるさと納税は、現在150件以上の種類があり、佐川産の木を使った木工品や地場産品などを用意している。寄附額は年々増えており、令和2年には1億7千万を超えた。寄附金基金も2億を超えている。

ふるさと納税基金（貯金）残高と実績



ふるさと納税の返礼品「ひのきの動物園」

広報

〈SNS〉



〈Instagram〉
フォロワー：1359人



〈Facebook〉
フォロワー：716人



〈LINE〉
友だち：428人

※各SNS登録者数 令和3年8月16日現在



佐川町HP

ファシリテーター育成研修

〈取り組み内容〉

ファシリテーターとは、会議などの場で参加者に発言を促したり話の流れをまとめたりする人のことで、会議や研修などの進行役などを担う。このファシリテーターの育成研修を、平成26年から計21回開催。

〈成果〉

合意形成を学ぶ場の提供は県内でも珍しい活動であり、住民に合意形成ができる下地ができてきたといえる。

ファシリテーター育成研修	
平成 26年	5回 (各20～40名程度)
平成 27年	3回 (各20名程度)
平成 28年	2回 (各20名程度)
平成 29年	2回 (各20名)
平成 30年	4回 (各20名程度)
令和元年	4回 (各10～40名程度)
令和 2年	1回 (24名)